

まなびの広場  
稲進会  
教室通信

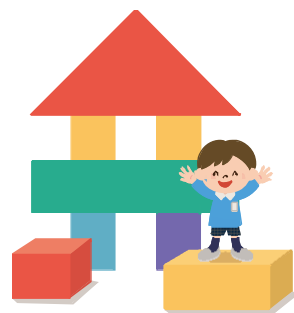
# 彩色いろいろ

## 大人の関わり

外部主催のロボット大会での出来事。ロボット大会とは毎年年末にも放映されるいわゆるロボコンだと思ってください。(教室では、ここ数年外部大会に参加していませんが、「参加してみたい！」という人がいれば、インストラクターに声をかけてください。大変なこともあるかもしれませんが、たくさんのことを経験できますよ。)

参加選手の調整場所に親は立ち入り禁止というルールがあります。親がロボットやプログラミングの製作に手を貸さないようにするためです。ロボットの大会は、野球やサッカー、バレーなどとは異なり、親が手を貸した場合、その影響が直接競技に影響します。野球であれば、親が打ち方をいくら教えようと、バッティングセンターに行きお金をかけて練習しようと、試合で実際にバッターボックスに立ちボールを打ち返すのは子ども自身です。やってくるボールに対して反応しバットを動かすのは子ども自身でしかありません。ですが、ロボットは違います。準備の段階で誰かが手を貸したとします。手を貸したものが100%そのままの状態出場できるのです。親だけでなく教室の指導者など関わる人全員が、その事実把握し、慎重に接していかなければなりません。

子どもの調整箇所に入れない親、もちろん遠くから見守っている方がほとんどですが、中には何とかして関わろうとする親がいるんです。会場の片隅に子どもを呼び出し、ヒソヒソと指示を出すなんていう姿がチラホラ見られたりします。指示を受けている子どもたちは完全に親に依存してしまっています。試合直前に父親を必死に探す子どもの姿、「お父さんロボット動かないんだけど、どうしよう」と言っています。子どもの姿を見た親は「この部分に問題があるはずだ、貸してみろ」なんてことをしています。大人が手を出したことがそのまま結果につながるのであれば、子どもの成長はありません。ちょっと考えれば誰にでもわかることです。でも、本当に目にする光景なんです。



かわいい我が子に結果を出して欲しい、その気持ちもわかります。ちょっと手を貸すぐらいならいいだろう、そうも思えることでしょう。でも、そのちょっとが子どもから考える機会を奪ってしまっているのです。大人は、いくら心配だとしてもグッと関わるのを我慢し、子どもの行動を見守る、そうした姿勢はいつでも、そしていつまでも忘れてはいけないものです。

## 教室の風景

### それぞれの1年スタート！

あけましておめでとうございます。  
今年もよろしくお願いします。

新年になり、我が家も今年は家族それぞれの生活が少し変わります。

息子が保育園を卒園し4月から小学校生活が始まります。

私としては本当に授業中座ってられるのかな？

お給食食べた後お昼寝なしで午後の授業受けれるのかな？

その前にひらがな本当に全部読めるのかな？(笑)

など、数えればきりがなく、考えれば考えるほど不安になるのであまり考えないようにしています。

そんな中、たどり着いた考えは、自然の流れで子供自身ダメなことを克服して行ってほしい。あれこれこちらが手をまわすより、本人が目の中の事ででつまづいたとき、本人自身がジャッジし色々な事を考え行動していてもらいたい、ということです。

時には、レスキューをすることも必要かと思いますが、まずは何事も経験として良いこと、悪いこと、嬉しいこと、悲しいことをたくさん味わって自分の経験値をあげて行って欲しいなと思っています。

さて、今年の山本家は、  
長男新小学一年生になる。

長女中学二年生になる。

旦那本厄

私ダイエット成功させる(〇回目の挑戦)！！



インストラクター 山本英美

### 作品★紹介



『神社』

立派な鳥居がある神社です。賽銭箱もありますよ！



『ガラガラ』

今年の運試しができます！果たしてあなたの運命は！？



『ペット』

かわいい親子のペットです。散歩の時間はまだかな～。